

オンライン講座

災害に強い地域づくり

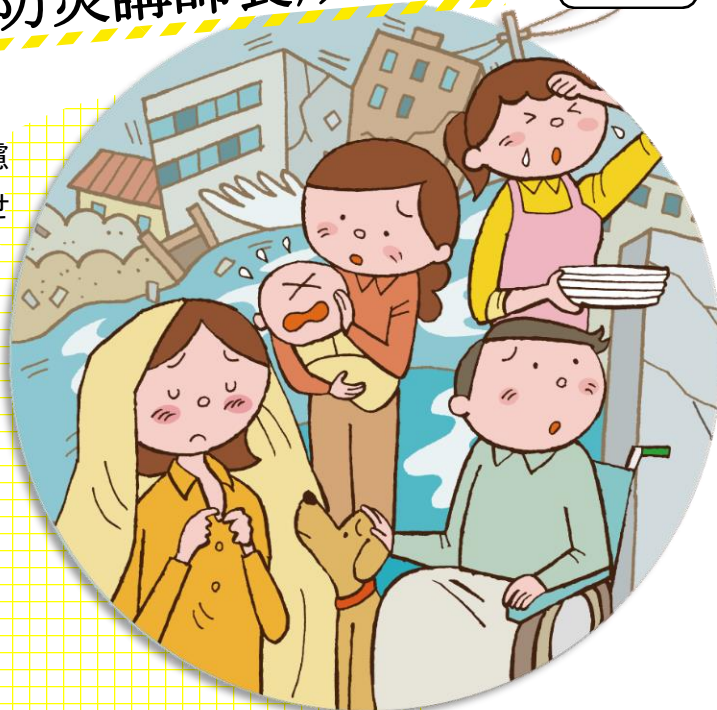
受講
無料

定員
20人

男女共同参画の視点による防災講師養成講座

性別や年齢、国籍、要援護など、多様な人々への配慮を取り入れた防災教育を学び、講師として活動しませんか？今回は、新型コロナウイルス対策も取り入れて実施します。

多くの方に伝えていただきたい内容です。



2020
8 / 29 (土)
10:00 ~ 15:30

午前	<p>「熊本地震を振り返り今後の防災について考える」</p> <p>講師 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 竹内 裕希子氏</p> <p>くまもと県民交流館パレア 館長 藤井 宥貴子</p>
午後	<p>「男女共同参画の視点による防災ワークショップ」</p> <p>講師 減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表 浅野 幸子氏</p>

《対象》受講後、地域で防災活動に取り組もうと考えている方

《申込》下記 QR コード（もしくは URL）よりお申し込みください。

<https://bit.ly/3jgQmqN>

《応募締切》8月24日（月）

★オンラインの視聴環境のない方は、当センターへご相談ください。



講師

浅野 幸子氏

減災と男女共同参画 研修推進センター
共同代表



阪神・淡路大震災の被災地で4年間支援活動に従事。その後、働きながら法政大学院政策科学研究科修士課程修了。2011年東日本大震災女性支援ネットワークに参加、2014年より現職。主な分野は地域防災。内閣府「避難所運営ガイドライン」「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」策定委員。

竹内 裕希子氏

熊本大学大学院先端科学研究部
准教授



独立行政法人防災科学技術研究所、京都大学防災研究所等を経て2014年から現職。2019年熊本大学震災アーカイブ室・室長（併任）。研究テーマは、地域防災、防災教育など。熊本県「防災会議」委員、熊本県教育庁「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業に係る推進委員会」委員（座長）の他委員多数。内閣府「地区防災計画策定支援」アドバイザー。

藤井 宥貴子氏

くまもと県民交流館パレア
館長



2003年、有限会社ミューズプランニングを設立。代表取締役。現在は、くまもと県民交流館パレア館長、熊本市ファミリー・サポートセンターのセンター長も務める。熊本地震発災直後から、性被害の防止啓発や避難所の環境改善に取り組み、その実状を県内外で講演。地域防災における男女共同参画の視点の重要性を訴えている。

この情報に関するお問い合わせ



くまもと県民交流館パレア
男女共同参画センター

TEL.096-355-1187(月～金 9:00～17:30)

FAX.096-355-4318(24時間受付)

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/danjo/>